

7. 離島漁業振興のためのスマートフィッシャリーズシステムの開発

宮原治郎・宮木廉夫・平野慶二

五島市では、周年約 20℃の地下海水を利用したクエの陸上養殖が行われているが、適水温（23～26℃）より低いため、出荷までの飼育期間の長さが課題となっている。本事業は、農林水産省の公募事業として、地下海水熱源のヒートポンプを用いた閉鎖循環式陸上養殖システムによりクエの養殖期間の短縮と収益性向上等を目指すものである。平成 28 年度は、国立研究開発法

人 水産研究・教育機構 西海区水産研究所・瀬戸内海区水産研究所・水産工学研究所が中核機関となり、総合水産試験場、(株) ジャパンアクアテック、(株) キッツが参画した。

当試験場は、水温制御システムの構成に必要な仕様を評価した。

(担当：宮原)